

本時のタキノノミーテーブル

タキノノミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タキノノミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 **レタリングについて学び、描くことができる。** **1学年** **教科:美術科**

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①-1 明朝体とゴシック体について学ぶ 本時	①-3 プリントに記入していく		② 描いた文字を比べる(見本と)		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	聴く 覚える	覚える		比較する 分析する		
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	①-2 各書体の成り立ちや違いを学ぶ	①-4 「永字八法」を学ぶ		③ 描いた文字を比べる(他者の作図と)	④⑥ 描いた文字を採点する	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	聴く 理解する	聴く 覚える	描く 模写をする	比較する 分析する	④⑥ 評価する	
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標			⑤-5 実際に「永」を明朝体で描く ⑦ 氏名を明朝体で描く			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			⑤ 模写をする ⑦ 描く、活用する			
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標						
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs						

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タキノノミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タキノノミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 **安全な住まい方を考え、工夫することができる。** **1学年** **教科:家庭科**

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	⑦ バリアフリー、ユニバーサルデザインの意味を知る。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	写す					
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		⑧ 住宅火災の原因を知る。 ③ 家庭内事故の年齢別原因と、家庭内事故は、乳幼児、高齢者に多いことを知る。		⑨-1 火災防止、早期発見のためにできることを考え、他の意見を聞く。 ⑨-2 防犯のための対策を考え他の意見を聞く。	⑩ 防犯対策でよい意見を自分の意見に加える。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		読み取る		分析する	選ぶ	
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		① 事例の家の中で、自分がケガをしそうな場所を見つける。 ② 自分はその場所ですどんなケガをしそうか予測する。	④ 事例の家の中で、乳幼児、高齢者がケガをしそうな場所を見つける。	⑥-1 自宅で自分の事故を防止するための対策を考え、グループでまとめる。 ⑥-2 自宅で乳幼児、高齢者の事故を防止するための対策を考え、グループでまとめる。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		探す	予測する	分析する 比較する 本時		
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標			⑤ 乳幼児、高齢者はその場所ですどんなケガをしそうか予測する。		⑥-3 家庭内事故防止に関する他の班の意見を評価する。	⑪ 自宅ですべき事故防止、火災・防犯対策を箇条書きにする。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			予測する		評価する	解決する

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 基礎技能を身に付け、木材の切断ができる 1学年 教科：技術科

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS: Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①ハンドノットに両刃のこぎりの各部名称を記入して、各部名称を知る	④正しい両刃のこぎりの使用方法を知る。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	記述する	分類する 比較する				
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標				③まっすぐに切ることが出来たか、切り方や固定の仕方などを考える。	⑥切断面を見て、評価シートに記入する。 本時	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				測定する 調査する	取捨選択する	
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標			⑤再度、木材を切ってみる。 ②木材を切ってみる。			⑦自分の作品に合わせた切断作業を行う。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			②⑤考える、実行する			問題や課題を解決する。
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標						
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs						

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タクソノミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タクソノミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)

学習目標 物質の性質を理解し、区別することができる。 1学年 教科：理科

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS: Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標						
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs						
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	①有機物と無機物について学ぶ。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	記述する、聞く					
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		②-1 ガスバーナーの使い方を学ぶ。 ②-2 物質を燃やすと何が発生するのかを理解できる。	③白い粉の正体を見極めるためにはどんな実験を行えば良いか考える。	④-1 白い粉を見極めるため、計画した実験を行う。	④-2 実験結果から白い粉の正体を見極め、その成果を発表する。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		操作する、実験する	計画する	分析する 本時	評価する	
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標				⑤プラスチックの特徴を実験を通して考える。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				分析する、表にまとめる、比較する、結論づける		

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 多民族社会を形成する北アメリカを理解できる。

1学年

教科:社会科

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①アメリカ合衆国の地形を知る					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	地図を確認する 記述する					
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	②通史を知る 黒人がなぜアメリカ合衆国に多く住んでいるのか	③アメリカ合衆国の人口構成を理解する ヒスパニック	④広大な国土 アメリカの農業はどのように発展したのか	⑤工業の発展 アメリカの工業はどのように発展したのか		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	映像を見る 記述する 時事ニュースを題材に考察する	グラフを読み取る 比較する 考察する 説明する	考察する 発表する 明確に述べる 考察の根拠を示す	考察する 発表する 推論する 他国と比較する		
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標				⑥多民族社会を形成するアメリカ/今後アメリカが抱える問題/大統領選挙動向		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				推論する 本時		
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標					⑦持続可能な社会の構築(地球環境問題・アメリカのバリ協定離脱)	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs					レポートを作成する	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 東京の町紹介ムービーを班で協力して作り、発表できる。

2学年

教科:英語科

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①-1モデルとなる町紹介のスピーチを聞く。	①-3頃のスピーチを読み、内容を理解することができる。	②-1東京の町紹介ムービーの原稿を作るために、東京の場所についてアイデアを出すことができる。			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	翻訳する	理解する、音読する	実装する			
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標			②-3東京の町紹介ムービーの原稿を作るために、東京の場所についての草案を考えることができる。	④-1班のメンバーに対し、自分の担当パートを発表し、お互いに評価し改善点を分析することができる。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			明確に述べる	審査する 本時		
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		①-2良いスピーチのポイントを理解する。	③ロイノートを使って、担当パートのスライドを作成し、原稿を書くことができる。		④-2分析に基づいてスピーチを改善し、より分かりやすい発表を班の中ですることができる。	⑤-1改善点をまとめ、スピーチを修正し、東京の町紹介をクラス全体に向かって、班で発表することができる。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		発見する、説明する	考えた方策を実行する		再構築する	構築する
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標		②-2東京の町紹介ムービーの原稿を作るために、東京の有名なものを班で共有し、発表のための役割分担をすることができる。				⑤-2ネイティブティーチャー (NT) に伝わるようにスピーチができる。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		比較する				構築する

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 防災と応急手当の方法について学び、正しく実践することができる。 **2学年** **教科:保健体育科**

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	②-1 応急手当の基本	①-1 自然災害に備えて				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	応急手当の基本を覚える。	被害を防ぐ方法について理解する。				
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		②-2 応急手当の手順 ④きずの手当て				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		②応急手当の流れを理解する。 ④止血法、包帯法、固定法について理解する。				
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標			③-1 心肺蘇生法(実習) 本時			①-2 自然災害に備えて
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			心肺蘇生について、場面に応じた判断・通報の仕方について実践する。			災害の場面を想定し、行動する。
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標				⑤ きずの手当て(実習)	③-2 心肺蘇生法(実習)	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				包帯法、固定法について、分析している。	心肺蘇生の方法について評価する。	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 方言と共通語の特徴や役割を考えることができる。 **2学年** **教科:国語科**

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標		①-1 方言について関心を持つ。クイズに答える。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		推論する。 比較する。 本時				
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		①-2 方言について調べる。	①-3 方言に関するクイズを作る。			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		分類する。 比較する。	分類する。 比較する。			
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標				①-4 方言分布の特徴を考える。	①-5 方言の良さについて話し合う。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				分類する。 比較する。 推論する。	討論する。 予測する。	
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標		② 共通語の特性について理解する。			③ 場に応じた言葉遣いについて話し合う。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		分類する。 比較する。 説明する。			討論する。 提示する。	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 等の奏法を知り、短い曲を作曲することができる。

2学年

教科:音楽科

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS: Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①読譜力をつける。 音符や音楽用語について知る。		④等のいろいろな奏法に注目して等曲「六段の調」を鑑賞する。			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	暗記する。		聴き取る。			
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		②等の奏法を知る。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		理解する。				
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		③等のいろいろな奏法を演奏してみる。		⑤奏法の音色を生かして短い旋律を創る。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		反復練習する。		分析する。 反復練習する。 識別する。(音色の違いを明確につかむ。)		
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標					⑥-2創作した楽曲を演奏し、旋律と音色の工夫を評価する。	⑥-1いろいろな奏法の音色の違いを生かして旋律を創る。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs					評価する。	創造する。

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 持続可能な社会をつくるために、何ができるのかを考えることができる。

3学年

教科:理科

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS: Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①地球の自然環境が急激に変化している状況を知る。	③-2持続可能な社会を目指して、身近にはどのようなものがあるか説明できる。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	記述する	説明する				
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		②地球の自然環境が急激に変化している原因について考えることができる。	④自然環境の変化に対して、私たち人間はどうしたら良いか考える。			⑥課題を克服するために必要なことは何か、自分の考えをまとめる。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		分類する 比較する 議論する	モデル化する 整理する 説明する			考察する
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		③-1現在の地球環境について表やグラフを参考に説明できる。		⑤地球の未来のこともふまえて考えていかなければならない課題をみつける。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		議論する 説明する 例示する(言い換える)		推論する 比較する		
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標					⑦自分の考えを班の中で発表し合う	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs					発表する 評価する 根拠を述べる	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標

地方自治に関する理解を深め、自らの地域の課題についての対策を
考えることができる。

3学年

教科:社会科

知識次元		認知過程次元 LOTS:Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS:Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①地方公共団体、地方自治のしくみを記憶する。	②③行政サービスの内容、地方財政の現状と課題について理解する。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	映像を見る。 板書を写す。	②③ 映像を見る、板書を写す。				
B概念的知識 ・分類やカテゴリ ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		④地域社会のために自分が行いたい活動について考える。	⑤他者の意見を聞き、自分の意見や考えを再度修正する。	⑥これまでに得た情報をもとにグループで地域の課題をまとめる。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		自分の意見をまとめる。	他者の意見を聞く。 自分の意見を修正する。	シートに課題をまとめる。		
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標					⑦-1地域の課題の解決に向けた条例案をグループで発表し、採用する。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs					評価する 本時	
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標					⑦-2様々な条例案や自分の条例案とを見比べ、良いと感じたものを採用し、説明する。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs					説明する	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標

買戻文に書かれている言葉に注目して、根拠をもって作者の思いや旅の目的・真意を感じ取ることができる。

3学年

教科:国語科

知識次元		認知過程次元 LOTS:Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS:Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①教科書や資料集を用いて、作者・作品の概略を知る。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	視覚化する 記述する 暗唱する					
B概念的知識 ・分類やカテゴリ ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	②冒頭部分を音読する。	⑤現代語訳から大意をつかむ。	⑥根拠をもって自分の考えを示す。		①紀行文を推敲する。	⑧紀行文を書いて、他の人に読んでもらう。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	理解する	理解する	説明する 明確に述べる		編集する 吟味する 再構想する	執筆する 制作する 発表する
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標	③歴史的仮名遣いや古語の意味がわかる。	④文中に使われている技法を説明する。		⑨作者の人物像を描く。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	特徴を見出す 理解する	分類する 説明する		推論する 説明する		
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標	⑧作者の思いについて感想を書く。		⑦他の意見を聞いて自分の考えを深める。			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	記述する 説明する		共有する			

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タクソミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タクソミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 三平方の定理を活用して、身近な課題を解決することができる。 **3学年** **教科:数学科**

知識次元		認知過程次元 LOTS:Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS:Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標						
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		③-2へ				
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	③-1 正三角形・直角二等辺三角形の3組の辺の比を覚える	② 三角形の定理の逆も成り立つことを証明する	③-2 30度-60度-90度の直角三角形・直角二等辺三角形の3組の辺の比を求める		⑧ 各班の調べたことの発表を聞き、お互いの説明の正確さ、判断基準の正しさを評価する	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	覚える	①-1 直角三角形の3辺の関係を調べ、法則を見つけ、三平方の定理を定義づける 計算する 関連付ける 一般化する	④ 弦の長さを求める ⑥-1 直方体の対角線を求め、公式化する	⑥-2へ	評価する プレゼンテーションする	
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標	①-2 三平方の定理について知る	①-3 三平方の定理を用いて辺の長さを求め、定理を理解する	⑤ 2点間の距離を求める ⑥-2 空間図形へ利用する			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	覚える	分類・比較する 計算する	考えた方路を実行する 明確に述べる			
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標			⑦ 三平方の定理によって解決する問題を生活の中に見つけ、解決し、発表する	①-4 三平方の定理を様々な方法で証明する		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			方法や道具を選択する 推論する 本時	推論する		

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

参考資料 (12月に行った授業のタキノミーテーブル)

タキノミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タキノミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 古典の文章を読み、登場人物の見方・考え方や心情を考えることができる。 **1学年** **教科:国語科**

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実に基づく知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①～④ 古文の言い回しに慣れる。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	朗読を聞く。 音読する。 暗唱する。					
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	①～1『竹取物語』についてノートにまとめる。	①～2 動画であらすじを理解する。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	知る。	理解する。				
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		② 登場人物の人物像を本文を基にまとめる。(同課題グループで)	③～1 登場人物の人物像を本文を基にまとめる。(混合グループで)		③～2 クラスで共有してほかの考え方を知る。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		説明する。 集約する。 議論する。	明確に述べる。 共有する。 精査する。		取捨選択する。 再構成・改定する。	
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標				④～1 登場人物の考え方や心情を根拠に基づいてまとめる。	④～2 現代に通ずるものがあるかという視点で、単元を振り返る。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				基準を見出す。 結論づける。	結論づける。 省察する。	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タキノミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タキノミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 鎌倉幕府のしくみを理解し、封建制度のしくみを図を用いて表現できる。 **1学年** **教科:社会**

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実に基づく知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①～2 武士の役割について学ぶ。	①～1 武士が現れたことについて考え、武士団の組織について理解する。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	記述する 理解する	図を読み取る 議論する まとめる				
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	② 院政について学ぶ。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	系図を読み取る 目的を理解する					
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標	③ 封建制度について学び、まとめる。		①～3 武士の反乱について資料を用いて考え、自分の意見や考えを発表する。	②～2 平家が権力を握った理由を資料から考え、出した意見に基づき整理する。		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	資料を読み取る 理解する 図式化する		資料を読み取る 議論する 発表する	資料を読み取る 議論する 整理し、記述する		
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標		④～1 地頭の支配について理解する。		④～2 系図を見ながら執権政治について考える。	④～3 源氏が三代で滅びた原因を史料や当時の権力のバランス等から判断する。	④～4 武士社会の伝統が現在の社会や考え方にどのように影響しているか考える。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		史料について考える 議論する 理解する		系図の見方を理解する 系図を読み取る	史料を読み取る 権力バランスから検証する	比較する、検証する 議論する、記述する 発表する

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タクソミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タクソミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 条件にあった点を、いろいろな作図を用いて求めることができる。 **1学年** **教科:数学科**

知識次元		認知過程次元					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①垂直二等分線を覚える ③角の二等分線を覚える					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	①③覚える					
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		②垂直二等分線を作図する ④角の二等分線を作図する				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	毎授業での 反復学習	②④作図する				
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標	②~④垂直二等分線や角の二等分線の作図の仕方を確認する	②~④垂直二等分線や角の二等分線の作図の仕方を確認する		⑤条件にあった点を作図し、小グループで話し合い活動する		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	②~④確認する	②~④作図する		⑤作図する		
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標						
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs						

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タクソミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タクソミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 自分に合ったペースや走法を発見し、より良い結果を出すことができる。 **1学年** **教科:保健体育科**

知識次元		認知過程次元					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標						
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs						
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	①-1 LSDについて学ぶ ③-1 インターバルについて学ぶ	①-2 LSDを意識して走る ③-2 インターバルを意識して走る				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	①③聞く	①③実践する、理解する				
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標	④呼吸法について学ぶ	④これまで学んだことを意識して走る	⑤ラップタイムを測定し、自分に合った走法やペースを見つけ、次の目標を定める	⑥-1、⑦-1 互いに目標を伝え合い、評価や助言をしよう		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	聞く、練習する	実践する、理解する	分析する 課題を発見する 目標を立てる	評価する 助言する		
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標		②自分のタイムを知る			⑥-2目標について振り返り、反省したり次の目標を立てたりする ⑦-2自分に合ったペースの走り方をまとめる	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		実践する、理解する			分析する 目標を立てる	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 進行形を使って英語を運用できる。

1学年

教科:英語科

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①-1 unit9で扱われた単語・表現を覚える。	①-2 進行形の意味や使い方を理解する。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	英文を記述する。 発声する。	理解する。 問題を解く。				
B概念的知識 ・分類やカテゴリ ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	②-1 進行形を含む本文を読む。	②-2 進行形を含む本文の内容を理解する。	③-1 進行形を使った作文を書くことができる。			⑥ 進行形を使った自然な会話ができる。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	音読する。 復唱する。 暗唱する。	翻訳する。 説明する。 要約する。	明確に述べる。 実践する。			創造する。 会話する。
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		②-3 良い文章のポイントを理解する。	③-2 自分の作文により、内容を伝えることができる。	④-1 メンバーの作文の改善点を分析できる。	④-3 メンバーの改善成果の善し悪しを評価できる。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		比較する。 意見する。 説明する。	明確に述べる。 実践する。	対象を照らし合わせる。 指摘する。	査定する。 審査する。	
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標		③-3 自分の作文を見て、善し悪しを客観的に理解する。		④-2 自分の作文の改善点を分析できる。	⑤ 改善したことで、より相手に伝わる作文ができる。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		比較する。 意見する。 説明する。		対象を照らし合わせる。 指摘する。	編集する。 再構成する。	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標 三角形の定義や性質、合同条件を含むトランプゲームを作ることができる。

2学年

教科:数学科

知識次元		認知過程次元 LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	②二等辺三角形の定義を覚えることができる。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	覚える					
B概念的知識 ・分類やカテゴリ ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	①三角形の合同条件を覚えることができる。	②-2二等辺三角形の性質を説明することができる。 ③二等辺三角形になるための条件を考え、説明することができる。	④正三角形と直角三角形の定義と性質を既習内容と比較し、まとめることができる。 ⑤直角三角形の合同条件を既習内容からまとめ、説明することができる。	⑦三角形のトランプゲームを作ることができる	⑧作ったトランプを行い、お互いのゲームを評価し合う	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	覚える	説明する	④比較、まとめる ⑤まとめる、説明する	分析・推論する	評価する	
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		⑥三角形の合同条件トランプで神経衰弱やババ抜きを行う。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		ルールに従ってゲームを行う				
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標					⑨評価し合った内容を含め、トランプゲームを作る	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs					再構成する	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タキソミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タキソミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 課題を達成するための実験を計画し、実践することができる。 **2学年** **教科:理科**

知識次元		認知過程次元 LOTS:Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS:Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①原子や分子について学ぶ。					
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	①記述する、聞く					
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標		②化学式について学び、物質のつくりについて理解する。	④化学反応式について理解できる。			
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		②議論する、例示する	④比較する、修正する			
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標			③実験を通して、化学変化の前後では質量が変化しないことを理解する。	⑤気体の発生する実験において、質量保存の法則を説明する計画を立てる。	⑥計画した実験を行い、証明する。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			③実験する、比較する	⑤計画する、予測する	⑥証明する、評価する	
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標						⑦実験を振り返り、レポートを作成する。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs						⑦レポート作成

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

タキソミーテーブル(学習目標分類表:改訂版タキソミー 2001 L.W.Anderson and D.R.Krathwohl)+学習者の動詞(Verbs)
学習目標 関係代名詞を正しく理解し、運用することができる。 **3学年** **教科:英語科**

知識次元		認知過程次元 LOTS:Lower Order Thinking Skills(低次の思考スキル)→HOTS:Higher Order Thinking Skills(高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A事実的知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	①-1 unit6で扱われた単語・表現を覚える。	①-2 関係代名詞の意味や使い方を理解する。				
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	英文を記述する。発声する。	理解する。問題を解く。				
B概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標	②-1 関係代名詞を含む本文を読む。	②-2 関係代名詞を含む本文の内容を理解する。	③-1 関係代名詞を使った作文を書くことができる。			⑥ 関係代名詞を使った自然な会話ができる。
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	音読する。復唱する。暗唱する。	翻訳する。説明する。要約する。	明確に述べる。実践する。			創造する。会話する。
C手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		②-3 良い文章のポイントを理解する。	③-2 自分の作文により、内容を伝えることができる。	④-1 メンバーの作文の改善点を分析できる。	④-3 メンバーの改善成果の善し悪しを評価できる。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		比較する。意見する。説明する。	明確に述べる。実践する。	対象を照らし合わせる。指摘する。	査定する。審査する。	
Dメタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標		③-3 自分の作文を見て、善し悪しを客観的に理解する。		④-2 自分の作文の改善点を分析できる。	⑤ 改善したことで、より相手に伝わる作文が出来る。	
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		比較する。意見する。説明する。		対象を照らし合わせる。指摘する。	編集する。再構成する。	

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。

学習目標

マラソン大会に向けて、自分に合ったペースや走法を見つけることができる。

3学年

教科:保健体育科

知識次元		認知過程次元					
		LOTS: Lower Order Thinking Skills (低次の思考スキル) → HOTS: Higher Order Thinking Skills (高次の思考スキル)					
		1 記憶する	2 理解する	3 応用する	4 分析する	5 評価する	6 創造する
A 事実に基づく知識 ・用語 ・特定の項目や要素	学習目標	②-1 走るときの姿勢について学ぶ ③-1 腕振りや呼吸法について学ぶ					① 自分に合ったペースで走る
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs	②③ 聞く					実践する
B 概念的知識 ・分類やカテゴリー ・原則や一般化 ・理論、モデル、構造など	学習目標			④-1 走っているときのモチベーションを維持する方法を考える	④-2 互いに声を掛け合うことで結果がどのように変化するか考える		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs			応用する 実践する	実践する 分析する		
C 手続き的知識 ・特定の領域のスキルと操作 ・技術と方法 ・手順を用いる基準	学習目標		②-2 走法を意識して走る		②~④ 1800mのラップタイムや走法について分析する		
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs		② 理解する、実践する		②~④ 分析する 課題を発見する		
D メタ認知的知識 ・方略 ・文脈や条件情報を含む認知課題 ・自己認識	学習目標				③-2 自分に合った走法を見つける	⑤ 互いに走法やラップタイムについて評価し合い、助言する	⑥ 今まで学んだことを活用し、自分に合った走法を見つける
	学習者の動詞 Digital Taxonomy Verbs				分析する 検証する	評価する 助言する	創造する 検証する

※ 学習目標の数字は授業を行う順番を指す。